

令和3年度 香川大学当初予算の概要

国立大学法人香川大学

1. 予算編成の基本的な考え方

令和3年度は、本学の第3期中期目標である『「世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」ことを理念とし、地域社会の課題解決に資する教育・研究等の実績を基に、地域活性化の中核的拠点としての機能強化を目指す。』を第3期の最終年度として着実に実現しつつ、第4期に向けた取組みを考慮し、戦略的かつ効果的な予算編成を行うこととする。

さらに、コロナ禍を踏まえた「新たな日常」に向けた教育・研究や経営改革とともに成果による共通指標に係る取組みを一層推進することとする。

特に、次の取組みについて重点的に推進する。

- ・大学改革の取組みやイノベーションデザイン研究所の整備など産官学連携体制の強化を推進
- ・コロナ禍に対応した教育・研究や業務改革のためのデジタルトランスフォーメーション（DX）化に向けた整備を推進
- ・イノベーションの創出などの取組みに向け、DRI教育を一層推進
- ・大学院新研究科の設置準備などの第4期に向けた準備事業の推進
- ・運営費交付金の「成果を中心とした実績状況に基づく配分」の拡大を踏まえた取組みを一層推進
- ・「予算の見える化」を引き続き推進
- ・経費の見直しを積極的に行い、限られた財源を効果的に活用することにより教育研究及び地域貢献を積極的に推進

2. 予算規模と収支内訳

(1) 予算規模は前年度より約1,519百万円増加の36,537百万円

令和3年度予算

(単位：百万円, %)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
附属病院以外	13,488	12,881	607	4.7
附属病院	23,049	22,137	912	4.1
合 計	36,537	35,018	1,519	4.3

令和2年度補正予算繰越分

区 分	内 容
附属病院以外	・イノベーションデザイン研究所整備事業 ・デジタルキャンパス整備事業 ・先端研究設備整備事業
附属病院	・総合滅菌管理システム ・多用途型トリアージスペース整備事業 (令和2年度施設整備事業) 文科省補助 ・ヘリポート給油設備整備 (令和2年度施設整備事業) 県補助

(2) 収入内訳

運営費交付金は、退職手当の増等により 384 百万円の増加、補助金等収入は、令和 2 年度から創設された授業料等減免交付金や新型コロナウイルス感染症重点医療機関体制整備事業（空床補償）により 981 百万円の増加、附属病院収入 221 百万円の増加等

(単位：百万円, %)

区 分	令和 3 年度	令和 2 年度	増減額	増減率	令和 3 年度収入割合
運営費交付金	10,617	10,233	384	3.8	29.1
学生納付金収入	3,860	3,858	2	0.1	10.6
補助金等収入	981	0	981	-	2.7
附属病院収入	20,737	20,516	221	1.1	56.7
雑収入	204	224	▲20	▲8.9	0.5
外部資金間接経費収入	113	113	0	0	0.3
目的積立金等繰入	25	74	▲49	▲66.2	0.1
合 計	36,537	35,018	1,519	4.3	100.0

(3) 支出内訳

人件費は附属病院職員給与や退職手当により、557 百万円の増加、学長戦略経費 9 百万円の増加、教育・研究経費は、授業料等減免交付金等により 199 百万円の増加、附属病院診療経費 649 百万円の増加、借入金償還経費の増加等

(単位：百万円, %)

区 分		令和 3 年度	令和 2 年度	増減額	増減率	令和 3 年度支出割合
人件費		19,288	18,731	557	3.0	52.8
内 訳	給与費	17,990	17,870	120	0.7	49.2
	（附属病院以外）	(9,192)	(9,249)	(▲57)	(▲0.6)	(25.1)
	（附属病院）	(8,798)	(8,621)	(177)	(2.1)	(24.1)
	退職手当	1,298	861	437	50.8	3.6
物件費		16,232	15,389	843	5.5	44.4
内 訳	学長戦略経費	549	540	9	1.7	1.5
	教育・研究経費	1,688	1,489	199	13.4	4.6
	診療経費	13,096	12,447	649	5.2	35.8
	一般管理費等	899	913	▲14	▲1.5	2.5
借入金償還経費		1,007	893	114	12.8	2.8
予備費		10	5	5	100.0	0.0
合 計		36,537	35,018	1,519	4.3	100.0

3. 令和3年度の主な事業

令和3年度は、学長のリーダーシップのもと、第3期中期目標・中期計画を実行し、第4期中期目標期間に向けて、本学の機能強化などの取り組みを、戦略的かつ効果的に推進する。

(1) 大学改革の推進 635百万円

①大学院の改革

- ① 医学系研究科看護学専攻博士後期課程新設・看護学専攻助産学コース及び公衆衛生看護学コース（仮称）拡充に伴う設備整備
- ② 新研究科設置準備事業

②産官学連携の強化

- ① イノベーションデザイン研究所の整備
 - ・ 地方創生に資する産官学連携活動
 - ・ 地域定着を意識した就職支援推進事業

③デジタルトランスフォーメーション（DX）化の推進

- ① 遠隔授業配信システム及び講義室の対面・遠隔ハイブリッド化
- ② 申請書類等の電子化
- ③ デジタルワンキャンパス整備事業
- ④ 研究設備等のリモート化

④大学のブランドイメージの強化

⑤大学改革加速化経費

(2) 教育の充実 128百万円

- ・ D R I 教育の推進
- ・ 農学系グローバル人材育成事業
- ・ データサイエンスに関わる基礎教育を全学波及させるための e-Learning 科目の開発と運用
- ・ ネクストプログラムの推進
- ・ 高大接続推進事業
- ・ 4 & 1 プラン推進関連「外国人留学生渡日生活支援事業」及び「日本人学生海外派遣支援事業」
- ・ 教育推進事業経費
- ・ 学生支援プロジェクト経費
- ・ 附属学校園の教育環境の整備
- ・ 農学部団地施設整備事業

(3) 研究の推進 133百万円

- ・研究推進事業（地域創造研究、萌芽研究、若手・女性研究支援など）
- ・健康イノベーションの創出事業
- ・植物ゲノム技術による高品質新品種開発に向けた分子育種研究・教育の拠点化
- ・希少糖生産と応用技術の国際的な研究教育拠点形成
- ・総合生命科学研究センター動物実験施設の設備整備
- ・微細構造デバイス技術による医農工分野の開拓的研究の推進
- ・赤外分光イメージング製品群創出事業
- ⑨第1回香川大学・チェンマイ大学・国立嘉義大学合同シンポジウムの開催
- ⑨ダイバーシティ研究環境推進プロジェクト事業

(4) 地域貢献 81百万円

- ・四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構による危機管理教育研究機能強化と地域強靱化研究拠点の形成
- ・サテライトオフィスの運営事業
- ・香川と都市圏の大学生対流促進事業
- ⑨瀬戸内国際芸術祭2022作品出展事業
- ⑨感染症教育センター整備事業

4. 附属病院事業

附属病院については、診療及び教育研究活動とともに新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費を計上する。

附属病院における収入においては、診療単価の上昇や病床稼働率の上昇を考慮した収入予算額とした。

附属病院における支出においては、医師や看護師の補充等の診療体制の強化により、人件費177百万円（2.1%増）の増加とした。

また、高額医薬品の増加に伴う影響等があり、物件費621百万円（4.9%増）の増加とした。

さらに、令和3年度において、コロナ禍を踏まえて新たに感染症教育センターを設置するとともに、感染症に対応できる陰圧室を整備するほか、外来診療棟に隣接する多用途型トリアージスペース等の整備を行う。

【令和3年度の主な設置整備事業】

○感染症教育センター設置

感染症分野の専門人材の養成拠点を形成し、専門人材を輩出することや感

染対策に関わる体制整備に寄与するため、令和３年４月から香川県と連携して附属病院に「香川大学感染症教育センター」を設置し、感染症分野の人材の養成を行う。

○陰圧室の整備

救命救急センターに、感染症に対応できる陰圧室を整備する。

○多用途型トリアージスペース整備

外来診療棟に隣接するように多用途型トリアージスペースを配置して、非常時に一般外来患者のトリアージや検査等のスペースとして活用し、通常時は、研修室、相談室、職員休憩室、医療材料備蓄倉庫及び防災用備蓄倉庫として活用する。

○ヘリポート給油施設整備

香川県のドクターヘリ導入に伴い、附属病院に給油施設を整備する。

附属病院の収入・支出の内訳

(単位：百万円, %)

区 分		令和３年度	令和２年度	増 減 額	増 減 率
収 入	附属病院収入	20,737	20,516	221	1.1
	入院	13,546	13,600	▲54	▲0.4
	外来	7,191	6,916	275	4.0
	運営費交付金	1,567	1,602	▲35	▲2.2
	補助金等	730	0	730	-
	雑収入等	15	19	▲4	▲21.1
	計	23,049	22,137	912	4.1
支 出	人件費	8,798	8,621	177	2.1
	物件費	13,244	12,623	621	4.9
	診療経費等	12,376	11,884	492	4.1
	教育研究経費	128	118	10	8.5
	設備費等	740	621	119	19.2
	債務償還経費	1,007	893	114	12.8
	計	23,049	22,137	912	4.1

5. 施設整備計画

施設整備計画は別表のとおりである。

令和3年度施設整備事業

事業名		事業概要	財源内訳
三木町 農学部 団地他	遺伝子実験施設等改修	農学部遺伝子実験施設及び創造工学部実験研究棟において、外壁全面調査により、外壁タイルの浮き部分が確認されたため、外壁全面にタイル剥落防止工事を行い、安全・安心を確保する。また、経年劣化による雨漏れ等リスク低減のため、屋上防水の改修を行う。	施設整備費補助金
附属病院	放射線治療棟整備	高精度放射線治療システムを導入し、香川県のがん診療連携拠点病院として、最新で良質な放射線治療を提供し、放射線治療における地域の中核的な役割を担い、地域医療機関との連携強化を推進する。	施設整備費補助金 長期借入金
各団地	施設費交付事業	老朽施設の改修、修繕	施設費交付金
番町 宿舎 団地	イノベーションデザイン研究所整備	地域・産業界の試験的な取組と大学のアイデアを融合し、地域・産業界との共創によるイノベーションの起点となる研究施設を整備する。(備品等整備)	目的積立金 運営費交付金
三木町 農学部 団地	食堂棟整備	学生・教職員に健康的な食事環境を提供するため、食堂棟の整備を行う。	運営費交付金
池戸 宿舎 団地	池戸宿舎整備	宿舎の集約化に伴い、居室等の修繕を行う。	運営費交付金
幸町 団地他	基幹・環境整備 (衛生対策等)	コロナ禍を踏まえて至急対応が必要な施設整備として、入試等で大人数が活用する幸町団地の大学会館、三木町医学部団地の講義実習棟の換気・空調設備を設置・更新する。	施設整備費補助金
鹿角町 団地	ライフライン再生 (給排水設備等)	老朽化が著しい給排水設備、電気設備の更新を行うことにより、BCPを踏まえた防災機能強化及び、安全・安心な教育研究環境を確保する。	施設整備費補助金

事業名		事業概要	財源内訳
鹿角町 団地	屋内運動場改修	老朽化が著しい体育館の非構造部材を中心とした改善整備を行い、安全で災害に強い教育環境を確保する。	施設整備費補助金
府中 団地	ライフライン再生 (給排水設備等)	老朽化が著しい給排水設備、浄化槽設備、電気設備の更新を行うことにより、BCPを踏まえた防災機能強化及び、安全・安心な教育研究環境を確保する。	施設整備費補助金
三木町 医学部 団地	ライフライン再生 (電気設備)	老朽化が著しい受変電設備等の更新を行うことにより、BCPを踏まえた防災機能強化及び、安全・安心な教育研究環境を確保する。	施設整備費補助金
附属病院	多用途型トリアージスペース整備	外来診療棟に隣接してトリアージスペースの整備を行い、非常時に一般外来患者のトリアージや検査等のスペースとして使用する。また、通常時は研修室、相談室、職員休憩室、医療材料備蓄倉庫及び防災用備蓄倉庫として使用する。	施設整備費補助金
番町 宿舍 団地	イノベーションデザイン研究所整備	地域・産業界の試験的な取組と大学のアイデアを融合し、地域・産業界との共創によるイノベーションの起点となる研究施設を整備する。(鉄骨造、3階、約600㎡)	施設整備費補助金 創立70周年記念特定基金 目的積立金
附属病院	ヘリポート給油施設整備	香川県のドクターヘリ導入に伴い、附属病院に給油施設を整備する。	香川県高度急性期機能強化・機能分化推進事業費補助金